

総合工学系研究科テニユア審査基準の概要

平成24年10月16日

テニユアトラック普及・定着事業運営委員会承認

テニユアトラック教員へのテニユア審査基準の概要は、以下のとおりとし、公募時に提示することができる。

《テニユア審査基準の概要》

テニユア審査合格の基準は、研究については業績ポイントが基準以上であること、教育、国際活動、管理運営業務及びその他の実績については、いずれもB以上であることが求められます。

更に詳細な審査基準については、採用面接時に説明されます。

研究:ポイント評価及びA,B,C評価です。

着任後の業績に基づいてポイント評価及び国際活動についてはA,B,C評価を行います。

【評価項目】

I. 論文・総説

- A. 原著論文(査読審査つきであること)
- B. 総説・レビュー(査読審査つきであること)

II. 著書

III. 作品, 制作物等

IV. 特許

V. 品種登録

VI. 学会賞・表彰

VII. 研究資金の獲得

VIII. 上記の項目に分類できない学術上の特記事項

IX. 国際活動:A,B,C評価です。

【評価項目】

- ①. 英語, 日本語のコミュニケーション能力
- ②. 国際会議等における活動
- ③. 国際共同研究(共同研究テーマ, 相手方機関, 相手方責任者, 期間, 成果)
- ④. 招聘
- ⑤. 英語での講義(年月日, 講義をした大学・学部等, 講義の科目名等, 総講義時間)
- ⑥. 上記以外の特記すべき国際的学術活動

【評価資料】

- I 国際学会での発表実績
- II 招待講演実績
- III 国際共同研究実績
- IV 英語力等

【評価の観点】

国際的な学術活動に能動的に関わって行けるポテンシャルがあるか

教育:A,B,C 評価です。

【評価項目】

- I. 研究指導
- II. 講義等(実験・実習・演習を含む)
- III. 特記事項

【評価資料】

- I 授業評価
- II 授業参観報告書
- III 研究指導実績
- IV 授業の負担(コマ数, 分担)についても確認し, 評価に勘案します。

【評価の観点】

- I 教員としての適性
- II 優れたティーチングを期待できるか
- III 4年生, 院生の研究指導ができるか

※全員に求めている授業負担は年間2コマの授業担当(講義プラス実験・実習・演習を含む)です。
理論系は講義2コマでも可。

管理運営業務:A,B,C 評価です。

【評価項目】

1. 管理運営業務
 - ①. 全学委員会(ワーキンググループ, 臨時委員会含む), 全学設置センターにおける実績
 - ②. 部局委員会(ワーキンググループ, 臨時委員会含む), 部局設置センターにおける実績
 - ③. 学生の生活指導・学生の就職等に係る活動(クラス担任・就職担当教員等)における実績
 - ④. ①～③以外の実績(あれば)

【評価資料】

- I 学内の委員会等での活動実績

【評価の観点】

テニユア授与後必要な管理運営業務に関わって行けるポテンシャルがあるか

その他(社会活動など):A,B,C 評価です。

【評価項目】

- I. 社会活動
- II. 社会活動以外の実績

【評価資料】

- I. 社会活動及び社会活動以外の活動実績

【評価の観点】

テニユア授与後必要な社会活動等に関わって行けるポテンシャルがあるか

外部評価の扱い

【評価資料】

- I 研究業績外部評価書

【評価の観点】

- I 代表的論文5件の全体的な質及び掲載された雑誌の分野における評価
- II 業績調査の内容, 国内・海外における研究の認知度等に基づく研究業績の評価
- III 本人と同じあるいは関連する研究分野で本人と同程度の研究歴を有するリーダー的な研究者と比較した場合の評価
- IV 上記以外の観点からの評価